

## 地質・岩石調査

ストロンボリ火山の噴出物について、6月26日に山頂北側の溶岩流、27日には **Sciera del Fuoco** を調査、観察した。

### 山頂火口北側の溶岩流の観察

図1の黒星付近から①の方向を遠目から見ることにより、図2に示す6番および8番の溶岩流により形成された地形を確認した。6番の溶岩流(Neostromboli)は、現在の植生限界付近に存在した火口(標高およそ500m)から流れ出たのではないかと推測されている。また、森林限界よりやや低いところでの登山道では、溶岩流の上位と考えられるアグルチネートが観測された。

### 海岸線付近の溶岩流の調査

海岸付近の溶岩流を観察した。図3(左)のように、塊状溶岩 (lave massive)で、上部にクリンカーとラフトが混合した部分が認められた。その部分では様々な構造が認められた。

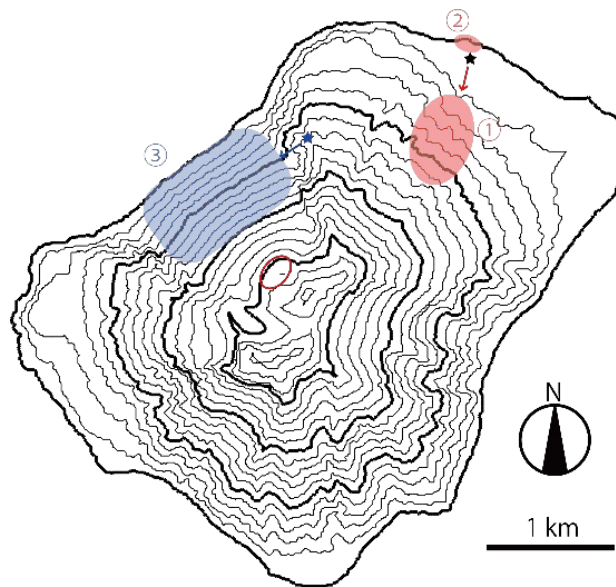


図1.ストロンボリ火山の地形と調査・観察場所.

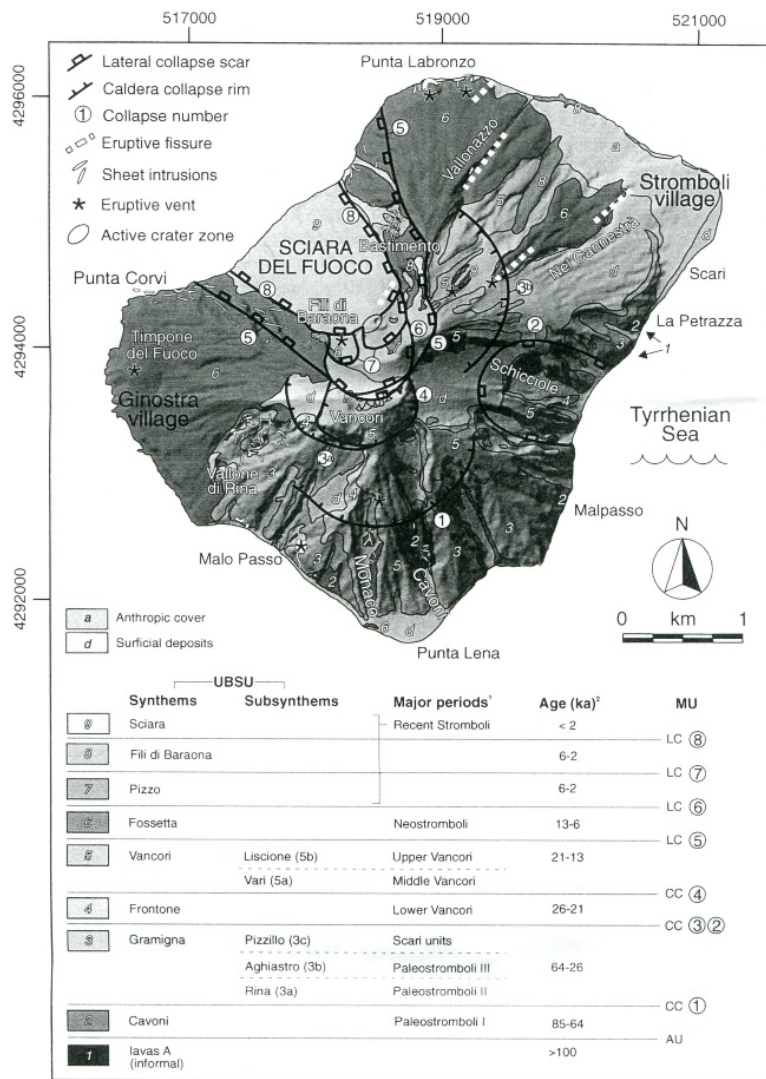


図 2. ストロンボリ火山の地質図(Tibaldi, 2010, Fig. 2).

この場所は海岸線であるので、溶岩が海に達した際に海水と接触し枕状溶岩が生成されることも予想されたが、今回の調査では見つけることはできなかった。このことは、溶岩流はさらに遠方の沖まで流れ、調査地点が溶岩流の最先端ではなく途中の陸地に広がった部分であることも考えられた。



図 3. 海岸付近で観察された溶岩流.



図 4. 溶岩流の一部の拡大写真.

#### ストロンボリ火山の北西部にある急峻な傾斜地 Sciera del Fuoco の観察 (6月27日)

図 1(a)の青星付近から、山頂火口での噴火に伴い Sciera del Fuoco で発生するロックフォール (岩の崩落、Rockfal) を観察した。Sciera del Fuoco を取り込むカルデラの北壁 (図 4 の青印付近) では、Vancori 期の噴出物を Neotromboli 期の噴出物は不整合面を介して覆っている様子が観察できる。両噴出物共に主に薄い溶岩流が何層も重なっている。アグルチネートも認められた。

海岸側には 2014 年 8 月に流出した溶岩流が観察された(図 5)。





図 4. 島北西部の Sciera del Fuoco(図 1 青星印から見た様子)。



図 5. 2014 年 8 月に流出した溶岩流 .